

GKP 財政を取り巻く状況の変化について ～ 今回の支援要請に関する背景のご説明 ～

本件の依頼状に記載させていただきました通り、GKP の財政は厳しい状況にあります。要因は主に、①GKP の情報発信を支えるサーバーの環境の見直しによる必要経費の増加、②プロジェクトの拡大に伴う事業活動費の増加、にあります。

詳細を下記に整理しましたので、お目通しください。

1. サーバー環境の改善

GKP のサイト運営に不可欠なサーバーを、旧来の「共有サーバー」から高スペックかつ高セキュリティの「専用サーバー」に切り替えました。(令和 4 年度)

理由は、マンホールカードの注目度の向上等に伴ってサイトへの負荷が急増し、一時的にアクセスし難くなるなどの現象があったためです。また、昨年 8 月に何者かによってサイバー攻撃を受け、サーバーがダウンし、サイトを一時閉鎖せざるを得ない事態となりました。

この問題は、サーバーの脆弱性を露呈したものであり、下水道 PR の機会損失が著しく、抜本的な対策を講じるためには高スペック・高セキュリティのサーバーに切り替える必要がありました。

そこで、GKP は専門家の助言を受けて具体的な検討を進め、理事会の承認を経て新サーバーへと移行した経緯があります。

これまでは日本下水道協会のご厚意によって同協会が契約しているサーバーを間借りさせていただいておりましたが、今回、独自に契約して運用することとなり、そのための導入費・運用費が必要経費に加わりました。

※令和 4 年度は積立金を切り崩して新サーバーの導入費を確保し、令和 5 年度は事業活動費の縮減(対前年度比約 7 割)によって必要経費の増加に対応しました。詳細は、別添「表 1：下水道広報プラットフォーム(GKP) 収支予算の推移」を併せてご覧ください。

2. プロジェクトの拡大等

GKP は発足から 10 余年、北海道・関西・九州に地方の拠点を立ち上げるなど、精力的に活動を拡げてまいりました。

「下水道分野で働く女性の会(GJ リンク)」のように独自の活動環境を整備して巣立っていった事例もありますが、多くは GKP のプロジェクトとして根付き、さらなる目標の達成に向けて活動量や質を高めながら広報に取り組んでいます。そのため、発足当初に比べて必要経費が増加する傾向があります。

GKP は、様々なコミュニケーションを通じて多く利用者の信頼を得ることにより事業の適正な推進の一助となるべく活動し、「働く場(就職先)」としての下水道の評価の向上、その先に下水道事業の持続と活性化をめざすものです。

こうした目的にご理解を賜り、活動をお支えいただきますと幸いです。

以上